

産学官金連携 医療分野で成果

九州大学 座談会

政府が成長戦略で柱の一つに挙げる医療分野。社会の高齢化で、数多くの現場ニーズから関連製品やサービスが求められることから、ビジネスチャンスの拡大が予想される。そのニーズを研究シーズと技術シーズと組み合わせて産業化させるには幅広い連携が欠かせない。九州大学は、医学部と病院を持つ総合大学として先端の研究と教育に取り組み、連携を先導する役割が期待される。そこで九大をはじめ医療分野の取り組みに積極的な自治体と企業、金融機関のトップが座談会を行い、医療における「産学官金」連携の可能性を語り合った。

産業活性化の視点から 久保氏 経営や人材育成を支援 谷川氏

「政府の成長戦略で柱の一つに掲げられるなど、医療分野への期待が高まっています。」

久保 医療分野の成長や発展は、少子高齢社会において国民の健康増進や医療費の削減に加え、新産業創出でも重要な役割を担っています。国も機器や医薬品の開発に、新産業創出へ向けた緊急の課題として取り組んでいる。ここでは医療、介護、ヘルスケア産業の活性化と生産性の向上という視点が大事になる。

久保は先端医療イノベーションセンターやARO(アカデミック・リサーチ・オーガニゼーション)次世代医療センターで医療機器や医薬品のシーズ開発にかかわってきた。医療分野でのICT(情報通信技術)活用も進んでいる。九大病院では国立大学病院、アジア遠隔医療開発センターなど現在55カ国413医療機関などと連携して手術や教育に生かしている。

「自治体のトップとして医療分野をどうやってかかすか。」

谷川 銀行は単にお金を貸すだけでなく、事業承継のノウハウ提供や、経営のアドバイスなども行っています。二つ目は、融資だけではなく、対応できない顧客支援の対応も必要です。

「成長の可能性はある課題もある。その解決の糸口となり得るのが医工連携です。齊藤市長は医工連携の土壌づくりで成果を上げています。」

齊藤 かつて飯塚は石炭産業が中心にあった。その衰退から脱却するために市内に産学連携を構築してきた。近畿大学産業理工学部を誘致し、九州工業大学が全国初の情報専門の学部である情報工学部をつくり、ソフト開発で起業しやすいバックアップ体制を整えた。情報関連産業の振興を

出席者	
九州大学総長	久保 千春氏
飯塚市長	齊藤 守史氏
西日本シティ銀行頭取	谷川 浩道氏
パラマ・テック社長	深水 哲二氏
(司会)	
日刊工業新聞社執行役員西野支社長	長野 光博



め、ファンドをつくらせて支援している。そのためには人を育てることが大事であり、グループを挙げて人材育成に力を入れている。その一つに医療分野では医療経営士という資格がある。行員に資格を取るように奨励しており、410人の合格者を出している。これは地銀トップクラスの水準。その中から選りすぐって2004年に医療専門チームをつくらせた。営業エリア各地に担当者を配置し、さまざまな相談に応じている。病院や機器を導入するのが難しい。しかし、医療を

「保険診療でできない先端医療を実施するために財政基盤は重要である。」「深水社長は血圧計メーカーとして長年開発に関わり、医療との関係が深いですね。」

「また医療分野をテーマにしたセミナーを頻りに実施しているのも取り組みの一つ。医療関係者向けと一般向けのセミナーがあり、最近では一般向けヘルスケアセミナーを福岡、熊本、鹿児島で3カ所で開催した。参加したのは合計で約1000人。啓発的な事業を含め、多面的、重層的な取り組みで地域医療の向上に貢献したいという思いで努力している。」

「久保総長は九大病院院長として病院経営の経験も持ちます。」

「久保総長は70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

産学連携の土壌生かす シーズ発掘の環境整う 深水氏



久保千春総長

「成長の可能性はある課題もある。その解決の糸口となり得るのが医工連携です。齊藤市長は医工連携の土壌づくりで成果を上げています。」

「齊藤 かつて飯塚は石炭産業が中心にあった。その衰退から脱却するために市内に産学連携を構築してきた。近畿大学産業理工学部を誘致し、九州工業大学が全国初の情報専門の学部である情報工学部をつくり、ソフト開発で起業しやすいバックアップ体制を整えた。情報関連産業の振興を

目指した「e-ZUKAトライバレー構想」や市内に土壌に医工連携が育っている。九工大ではカプセル型の飲む胃カメラの研究なども進んでおり、ほかにも

「深水 飯塚市の企業は恵まれている。医工連携に積極的な医療機関が多い。当社は福岡市内の企業だが仲間に入れてもらい感謝している。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」



齊藤守史市長

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「深水 飯塚市の企業は恵まれている。医工連携に積極的な医療機関が多い。当社は福岡市内の企業だが仲間に入れてもらい感謝している。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「深水 飯塚市の企業は恵まれている。医工連携に積極的な医療機関が多い。当社は福岡市内の企業だが仲間に入れてもらい感謝している。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「深水 飯塚市の企業は恵まれている。医工連携に積極的な医療機関が多い。当社は福岡市内の企業だが仲間に入れてもらい感謝している。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

「深水 飯塚市の企業は恵まれている。医工連携に積極的な医療機関が多い。当社は福岡市内の企業だが仲間に入れてもらい感謝している。」

「齊藤 市内には70年に脊椎や脊髄の専門病院「総合せき損センター」ができた。そこでは首のわずかな動きを利用してテレビなど家電製品を操作する、唇に貼ったシールの動きでパソコンを操作するといった技術の開発に取り組んでいる。患者の自立を高め、就労や就学につなげることが目的だ。麻生飯塚病院は医工連携の中心的役割を担っており、済生会飯塚嘉穂病院など他の総合病院も医工連携への意識が高まっている。」

医療現場のよるこびをつなぐ MEHERGEN GROUP

ネットワーク機能で「つながる」医療へ。

私たちパラマ・テックは、医療機器に通信機能を搭載する事で、家族・地域が一繋がるネットワークを生かした医療環境の構築を目指して、日々開発に取り組んでいます。

私たちが目指しているのは、血圧・心電図などの測定を通して皆様の健康を見つめ、研究心と技術力で明日の医療発展に貢献するパラマ・テックです。

株式会社 パラマ・テック 〒813-0034 福岡市東区多の津1丁目7番5号
TEL:092-623-0813 FAX:092-623-0814 ISO 13485 本社(工場) 認証取得

http://www.parama-tech.com/

人と産業が集まり成長するまち「飯塚」

e-ZUKAトライバレーセンター

施設・支援の特徴

- ・毎月使用料わずか約1,000円/㎡(学生は更に半額)で提供
- ・各部屋に光ケーブル等完備、年中利用可、各種共有スペース有
- ・アドバイザー(コンサル、行政書士、社会保険労務士)無料相談可

福岡県飯塚市幸袋576-14

飯塚市役所 経済部 産学振興課 TEL:0948-22-5518(直通)、e-mail:sangaku@city.iizuka.lg.jp

福岡県立飯塚研究開発センター

施設・支援の特徴

- ・研究開発室の提供や産学連携の推進等で企業の研究開発をサポート
- ・調査研究、実用化開発、製品試作などの経費の一部を補助
- ・補助金活用等の無料相談、3D-CAD関連技術者研修などの実施

福岡県飯塚市川津680-41

(公財)飯塚研究開発機構 TEL:0948-21-1150(代表)、HP:http://www.cird.or.jp/

株式会社福岡ソフトウェアセンター

施設・支援の特徴

- ・ソフトウェア企業及びソフトウェア関連企業向け格安オフィス提供
- ・企業現場で即戦力となるITスペシャリスト育成講座を定期的開催
- ・セキュアネットワークシステム、仮想社内ネットワーク等の構築支援

福岡県飯塚市幸袋526-1

(株)福岡ソフトウェアセンター TEL:0948-21-1281(代表)、HP:http://www.fsc-go.co.jp/